

つなぐ



2学期も残りわずかになりました

12月も半ばになり、学習のまとめの時期になりました。子どもたちは、2学期の前半に休校等で学習できなかった時間を取り戻すために、6時間目や7時間目などを設定して学習に取り組んでいます。寒さも厳しくなってきますので、体も心も疲れが出てくる頃かもしれません。睡眠を十分にとり、朝食を食べて元気に登校してほしいと思います。



「聞く」ことの苦手さ

学習中の子ども達を見ていると、教師の説明や指示を正しく聞き取ることに苦手さがあると感じことがあります。話の内容を聞き逃がしたり、正しく聞き取ることができなかったりした子どもたちの中には、途中で活動することを諦めてしまう様子が見られました。話の聞き取りが苦手な原因としては、次のような理由が考えられます。聞くことに苦手さがある場合は、視覚支援や話の内容を聞き取るためのトレーニングが必要になります。



<苦手さの原因>

①不注意傾向がある

- ・話す人に注意を向けることが苦手。
- ・他のことを考えている。



②イメージ化に弱さがある

- ・話を聞きながら、順序や内容をイメージすることが苦手。

③ワーキングメモリーに弱さがある

- ・聞いた情報を脳で処理することが苦手。
- ・聞くことに疲れる。
- ・聞いたことの処理が追いつかず諦める。

④多動・衝動がある

- ・初めは聞いているが、他のことが気になる。
- ・情報が途切れ、話の全体が理解できない。

⑤語い力に弱さがある

- ・話を聞いているが、自分がもっている語いが少ないため、話している内容が完全には理解できない。

<支援とトレーニング>

○視覚支援

- ・いつも見て思い出せるようにする。
- ・手順が見て分かるようにする。
※イメージしやすいように手本や図・写真・絵などを示す。



○トレーニング

①音を取り出す

- ・「こいのぼり」の3番目の音は何?
→「の」



②音を削除する

- ・「た」を抜いて言いましょう。
「ゆでたまご」→「ゆでまご」

③音の並びの逆唱をする

- ・逆さまから言いましょう。
「のりまき」→「きまりの」